

地域医療連携だより



■ 呼吸器外科からのご案内

呼吸器外科医師 就任のご挨拶

2025 年 4 月より新設された呼吸器外科の担当をします宮田剛彰と申します。

当科の代表的な疾患として肺がんが挙げられますが、肺がんはわが国における悪性新生物の部位別死亡数は男性で最も多く、女性も大腸がんに次ぐ 2 番目の多さ（出典：厚生労働省「2023 年人口動態統計（確定数）」）、また部位別罹患数は男女とも 3 番目の多さ（出典：厚生労働省「全国がん登録罹患数・率 報告 2020」）となっております。今後肺がんや縦隔腫瘍などの呼吸器悪性腫瘍に対する外科治療も含め、がん診療指定病院として充実した医療が提供できるように努めて参ります。

また、がん診療以外にも気胸、膿胸などの一般呼吸器疾患、胸部外傷などの救急疾患に対しても、呼吸器内科をはじめとした各科との連携をとりながら、当院で完結できる地域医療をさらに充実させて行きたいと思っております。

診断がついていなくとも、肺野 / 胸部異常陰影など対応いたしますので、ご相談頂ければ幸いです。顔の見える地域医療を目指して尽力していく次第ですのでよろしくお願い申し上げます。

宮田剛彰 TAKEAKI MIYATA

■産業医科大学 平成 21 年卒

■専門医・認定医

産業医

医学博士

日本外科学会 外科専門医

呼吸器外科学会専門医合同委員会 呼吸器外科専門医

外傷初期診療ガイドライン（JATEC）修了

外傷外科医等養成研修事業 研修修了者

■主な呼吸器外科該当疾患

肺腫瘍性疾患（原発性・転移性肺腫瘍など）

縦隔腫瘍（胸腺上皮系腫瘍など）

胸膜疾患（気胸、縦隔気腫）

感染性疾患（膿胸など）

胸部外傷（肋骨・胸骨骨折、血胸など）